

埼玉の私立高校生には開かれている未来がある

希望する大学への進学に 強みを持つ私立高校

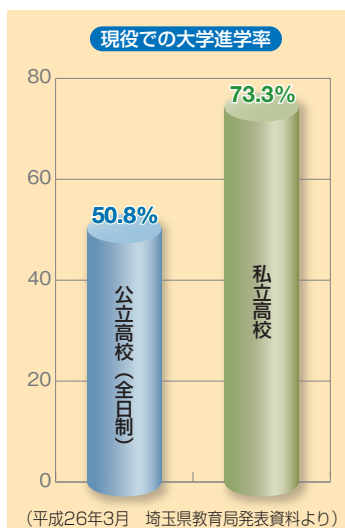
私立高校生の約75%が 現役で大学に 進学している

埼玉の私立高校生の大学進学
者数が年々伸びています。現役
での大学進学志向が高まるなか、
埼玉の私立高校は現役進学率を
毎年伸ばし続け、十分にその使
命を果たしているといえます。

平成26年度の埼玉県教育局の
統計（26年3月高校卒業生）を
見てみると、埼玉の全日制高校
卒業生 5万3676人のなかから、
3万1006人が大学に進学してい
ます（短大などを含む）。これは
全体の57.8%にあたります。

公私の違いを見てみると、公
立全日制の卒業生では50.8%が
大学に進学しているのに対し、
私立高校からは73.3%の生徒が
現役で大学に進んでいます。

公立高校には、もともと進学
を希望しない生徒も多いのでこ
のような違いが出てきます。



私立高校生のなかには、この
ほかに浪人して大学進学をめざ
している生徒もいますので、進
学希望者はもっと多いことにな
ります。

現在、埼玉の私立高校に通う
生徒のほとんどが、大学への進
学を希望しています。その要望
に応えようと、学校側も授業改
革やカリキュラの見直しを進め
たうえ、教えるメソッドを磨き、
学びの環境も整えてきました。

平成26年3月の卒業生の進路
を下のグラフに表してみました。
上の棒グラフが公立高校、下の
棒グラフが私立高校の卒業生で
す。公立高校から4年制大学に
進学した生徒は半分に達しませ
んが、私立高校の卒業生では70
%を占めます。やむなく短大等
に進んだ生徒もありますが、少な
くとも大学進学を前提に高校進
学を考えている生徒が選んでい
るのが私立高校だということが
わかります。

